

まちづくり (わいわい) 塾 参加者の声

～土地の用途を学ぼう～

- ・地域経済の向上は、市民活動団体がまちづくりを広げ、向上させることと同じく考えなくてはならないことだ。
 - ・めったに見ることができない、また聞くことができないものを見たり、聞けてとても参考になった。山本先生の話も大いに勉強になった。
 - ・自宅の近くにありながら少し距離を感じていた横浜ゴムの工場を見て回ることができ、より身近なものになった。また、地域経済活性化の新しい考え方を聞いて、新しいまちづくりの可能性を感じた。ただし、現実にはどれだけ適用できるか難しいのではないかと感じた。こういった運動の萌芽を大事に、この講義であった冗長性を持って取り組んでいけたらと思った。
 - ・工場を内側から見ることができ、貴重な体験となりました。
 - ・用途地域のスライドはとても分かりやすく良い復習をすることができました。
 - ・エコノミックガーデニングという言葉は聞いたことがなかったので、知ることができ良かったと思います。
 - ・ビジネス環境の整備はインフラなどのハード面だけでなく、やる気、ネットワーク、人材などソフト面の充実が必要であるが、ソフト面の整備は形にならず結果も見えづらいので、非常に難しいと思いました。
 - ・行政はやる気のある企業、ネットワークの発掘、形成とそのサポートについて考えていけないといけないと感じました。
 - ・予算についての話では、短期的視点で旅費などの予算が削られてしまうことでしたが、情報収集によって地域が活性化される可能性を考えた長期的視点も必要なのだと感じました。
 - ・できれば、動いてるラインが見学したかった。
 - ・山本先生のお話、とても素晴らしかったです。ぞっとする未来、40年後のこと、私にはもう先がありませんので関係ありませんが、これからの若い人は大変な世の中で生活するのだなと思いました。
 - ・頭の活性化の一助となった。
 - ・時間の設定があるので時間内に終わらせてほしい。時間オーバー25分しているのに、なぜ謝罪の言葉がないのか疑問です。
 - ・今まで何回か「まちづくりわいわい塾」の御案内をいただきましたが、なかなか参加することができませんでした。本日やっと参加でき、有意義に受講できたこと、大変有り難く思っています。満足感、お得感を頂きました。
- 横浜ゴムさんは私の住む町内ですので、今まで数回、工場敷地内見学をしましたが、今度のように広い範囲を見学できたのは初めてです。行政の主催する行事で、目的も「土地の用途について学ぼう！」ということもあるでしょうが、
- 私事になりますが、今から50年前のゴムさんや不二家さん、その他の会社の臭いや騒

音が大変でした。工場内の小さな火災もあったかな。それらに比べ今は技術も進歩し、会社として色々な規制もあるのか、今は臭いや騒音は感じません。「千年の杜」と「生物多様性」にも積極的に取り組む姿勢には好感が持たれます。印象に残ったことは、震災があった仙台より種を持ってきて、苗に育て、仙台に戻す。植生を考え、きめ細かに育てることに感激。

この度のチラシについて「エコノミックガーデニング」って何？がもう少しイメージできる説明が必要ではないかな。何の知識もない無知な私は、シャベルやエプロンは要らないのか、雨みただけで出来るのだろうか？ゴムさんが育苗や植樹活動をしているのを知っていたので、経済的に出来るガーデニングがあるのかなど勝手に思ったりしていました。終わってしまえば「笑い話」ですが。ありがとうございました。